

第1回 定例会

第1回定例会は、4月19日から28日の10日間の会期で開催し、専決処分2件・条例改正2件・当初予算6件が上程されました。令和4年度一般会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算については否決となりました。

否決された3予算を除き、発議1件を含むその他議案については、すべて原案のとおり可決しました。また、報告は37件ありました。

専決処分

承認

承認第3号

▽専決処分第3号（城里町税条例等の一部を改正する条例）の承認を求めることについて

（住宅用地等に対して課する令和3年から5年度までの固定資産税の減額、住宅ローン控除延長に伴う規定の整備等を行ったもの）

承認第4号

▽専決処分第4号（城里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて

（国民健康保険税の賦課限度額の引き上げを行ったもの）

条例改正

可決

議案第27号

▽城里町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例について

議案第28号

▽城里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

（農業委員会委員の報酬額について、近隣市町村との均衡を図るため、会長、会長代理、及び委員の報酬額を引き上げるもの）

当初予算

否決

議案第29号

▽令和4年度城里町一般会計予算について

令和4年度当初予算の詳細については
P2「令和4年度 予算の概要」をご覧ください。

反対討論

加藤木直 議員

社会福祉施設の漏水による水道料金減免を正当化するため、規程変更という論ずるに値しない予算である。

また七会町民センターのトレーニングジム管理委託料100万円と使用料金が、予算書に載っていない。

一般会計年度におけるすべての歳入歳出は、予算に計上しなければならぬのが総計予算主義の原則である。相殺することで予算を少なく見せ、事業を掌握できないようにするまやかしはやめるべきである。

また、元氣アップ振興券第5弾も、過去4回の経済効果に対する分析・報告を聞いていない。バラマキをやめ、コロナ禍で真に困っている人を支援すべきだ。

賛成討論

高橋 裕子 議員

学童クラブ建て替えは必要と考える。なぜなら、少子化とは言え、仕事をもち、子供を預けなければならぬ家庭は確実に増えている。おひさま学童クラブが他の開放学級と合併すれば、感染症により、数日間閉鎖となり、多くの家庭が大変な思いをするのは目に見えている。

建築費用約五千万円とだけ聞けば多額の町税と思うが、補助金があり町の負担は約千万円である。

園庭を走り元気に過ごす子供たちの笑顔はそれには代え難く、無駄ではない。未来ある子ども達、保護者の声を真摯に受け止めて頂きたい。

反対討論

猿田 正純 議員

社会福祉法人の漏水返還金を、一般会計予算から支出する不公平な予算は認められない。

おひさま学童クラブは、一刻も早く耐震を満たす安心安全な石塚開放学級との統合を行うため、町が両者の運営の是正を行うべきである。また、旧常北幼稚園敷地を分割する道路の建設にも反対である。さらに、放課後児童クラブ保育料免除の規則は町内7カ所の児童クラブの内石塚開放学級、常北小児童クラブのみ適用となることも理解したい。

最後に、特定空き家補助金交付についても、事業の詳細が決まっていらないのに予算計上などあり得ない。

反対討論

藤咲 美美子 議員

健康増進施設の指定管理料は、グリーンツーリズム事業が導入されたことにより、1,800万円上乗せして5,800万円になった。

今年度からグリーンツーリズム事業は廃止になり、施設の事業は縮小しているにも関わらず、指定管理料は増えている。これは不公平だ。

さらに、おひさまクラブの工事管理委託等の整備事業に5,272万1千円が計上された。町長からは、児童を旧常北幼稚園に引き取った当時、一切議会に説明がなかった。地方自治法138条の2に抵触する。

財政は健全化というが、実質単年度収支は4年連続マイナスだ。これは赤字を表している。

可決

議案第30号

▽令和4年度城里町国民健康保険特別会計予算について

反対討論

藤咲 美美子 議員

今年度から国保税の賦課方式が、所得割・均等割の2方式に統一された。廃止された平等割の金額3万円分は町の財源で調整した。町民の負担軽減に努力をし寄与したことは認めたい。

国では、20歳未満の子ども多子世帯に負担軽減を名目に総額5億円の特別交付税が予算化された。県からの按分された232万7千円は見直しのみで、各自自治体への交付金はなかったという。

可決

議案第31号

▽令和4年度城里町後期高齢者医療特別会計予算について

議案第32号

▽令和4年度城里町介護保険特別会計予算について

しかし、5億6,000万円ある国民健康保険支払準備基金を活用し給付することが出来たはずだ。20歳未満315人分の予算措置がなされなかった。